

第 1 号議案

平成 23 年度 事業活動報告

はじめに

ギリシャ財政危機をはじめとして、ユーロ安、円高が進行し、輸出産業を中心に危機感が広がっており、景気が浮揚するにはまだ時間がかかるものと思われます。

当基金協会は、この 4 月に公益財団法人として登記が完了しました。引き続き、勤労者の福祉向上に向け役割をはたすことが求められています。

事業計画

1. 労働者福祉に関する調査研究
2. 勤労者の福祉及び文化に関する事業
3. 労働者福祉に関する研修
4. 労働者への相談支援事業

[1] 事業計画の結果

1. 労働者福祉に関する調査研究

①勤労者の研修会の来場者にアンケートを実施しました。

アンケートの分析

福井県労働者福祉基金協会

テーマ 勤労者のための研修会

期 間 2011年4月から2012年3月まで

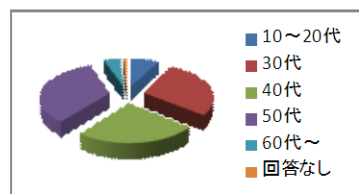
場 所 県内6会場

参加者 264名

アンケート回収 223枚
アンケート回収率 84%

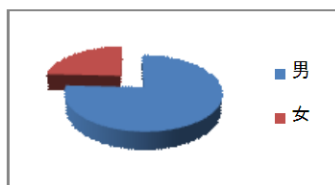
1. あなたの年代

項目	10～20代	30代	40代	50代	60代～	回答なし
参加数	17	63	55	76	10	2
比率	8%	28%	25%	34%	4%	1%



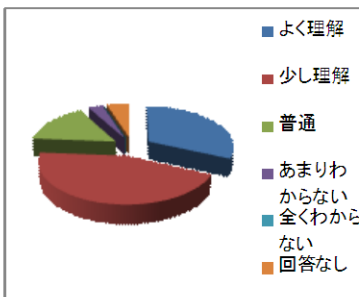
2. あなたの性別

項目	男	女
参加数	169	54
比率	76%	24%



3. 今日の講座はいかがでしたか。

項目	よく理解	少し理解	普通	あまりわからない	全くわからない	回答なし
参加数	71	99	35	7	0	11
比率	32%	44%	16%	3%	0%	5%

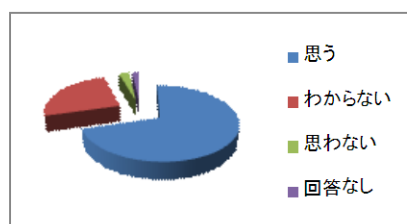


4. 今日の講座のあることを何でお知りになりましたか。(グラフは省略)

項目	組合	市町村の広報	友人・知人	その他	回答なし
参加数	209	8	4	1	1
比率	94%	4%	2%	0%	0%

5. 次回このような講座が開催されたら参加しようと思いますか。

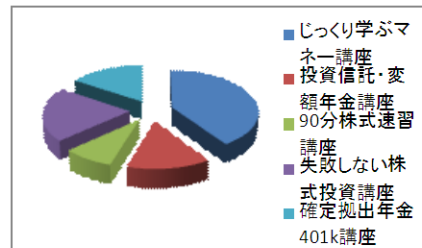
項目	思う	わからない	思わない	回答なし
参加数	157	56	6	4
比率	70%	25%	3%	2%



6. 本日受講した講座のほかに受けてみたい講座はありますか。

項目	じっくり学ぶマネー講座	投資信託・変額年金講座	90分株式速習講座	失敗しない株式投資講座	確定拠出年金401k講座
参加数	104	36	22	54	40
比率	47%	16%	10%	24%	18%

複数回答



7. その他

記述	是非、失敗しない株式講座をしてほしい。税法を有利に使えるような預金講座をしてほしい。
	報酬月額の時給決定・随時改定のことと資産運用について。
	個人のマネープランに対するセミナーがあれば、また受講したい。
	貸借対照表、損益計算書を利用した個人資産を増やす講座があったら良い。
	保険で資産が増やせるという考え方を気付かせてもらいました。参考になることが、多くありました。

2. 勤労者の福祉及び文化に関する事業

①第 61 回勤労者美術展

開催期 2011 年 9 月 27 日（火）～10 月 3 日（月）
会 場 福井県立美術館
出展数 281 点（絵画 116 点・書道 73 点・写真 92 点）
入場者数 1,002 名
P. 16～P. 17 参照

3. 労働者福祉に関する研修

①勤労者のための研修会

自分のコミュニケーション力や賢い消費者生活をおくる為の研修会を開催しました。

2011 年度勤労者のための研修会

日 時	場 所	参加者数	テーマ
5 月 24 日(火)	ユニオンプラザ福井	45	チェックしましょう!あなたのコミュニケーション! 講師 相本 芳彦 氏 (フリーアナウンサー)
7 月 23 日(土)	あいあいプラザ	48	今ならまだ老後を変えられる!! 講師 川尻 幸夫 氏 (ファイナンシャル・プランナー)
10 月 12 日(水)	勝山ニューホテル	31	〃
10 月 18 日(火)	ユニオンプラザ福井	62	〃
10 月 19 日(水)	坂井地域交流センター ・いねす	52	〃
11 月 10 日(木)	小浜勤労福祉会館	29	〃
11 月 18 日(金)	サンドーム福井	42	〃
3 月 21 日(水)	ユニオンプラザ福井	19	超低金利時代の生命保険活用法 講師 川尻 幸夫 氏 (ファイナンシャル・プランナー)

4. 労働者への相談支援事業

労福協が事業として行っているライフサポートセンターの窓口相談や電話での相談を支援しました。

第2号議案

平成23年度 会計報告

貸 借 対 照 表

平成24年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
0002 現金預金	1,332,026		1,332,026
1113 普通預金	1,332,026		1,332,026
流動資産合計	1,332,026		1,332,026
2 固定資産			
(1) 基本財産			
1213 定期預金	41,646,850		41,646,850
1214 出資金	130,000,000		130,000,000
1215 有価証券	100,000,000		100,000,000
基本財産合計	271,646,850		271,646,850
(2) 特定資産			
特定資産合計			
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計			
固定資産合計	271,646,850		271,646,850
資産の部合計	272,978,876		272,978,876
II 負債の部			
1 流動負債			
2112 未払金			
2115 預り金	40,794		40,794
流動負債合計	40,794		40,794
2 固定負債			
固定負債合計			
負債の部合計	40,794		40,794
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
3118 寄付金	271,646,850		271,646,850
3122 基本財産評価損益			
3123 特定資産評価損益			
指定正味財産合計	271,646,850		271,646,850
0016 (うち基本財産への充当額)	(271,646,850)	()	(271,646,850)
0017 (うち特定資産への充当額)	()	()	()
2 一般正味財産	1,291,232		1,291,232
0019 (うち基本財産への充当額)	()	()	()
0020 (うち特定資産への充当額)	()	()	()
正味財産の部合計	272,938,082		272,938,082
負債及び正味財産合計	272,978,876		272,978,876

正味財産増減計算書

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
4111 基本財産受取利息	82,217		82,217
4112 基本財産受取配当金	5,200,000		5,200,000
4113 基本財産有価証券運用益	1,700,000		1,700,000
受取寄付金			
4116 受取寄付金	468,500		468,500
雑収入			
4191 受取利息	498		498
経常収益計	7,451,215		7,451,215
(2) 経常費用			
事業費			
5111 給与手当	1,946,567		1,946,567
5114 福利厚生費	35,112		35,112
5115 旅費交通費	63,965		63,965
5116 通信運搬費	215,042		215,042
5118 消耗品費	173,649		173,649
5119 印刷製本費	767,025		767,025
5120 広報活動費	255,675		255,675
5121 渉外費			
5123 光熱水費	19,800		19,800
5124 委託料	58,252		58,252
5125 報償費	504,000		504,000
5126 賃借料	627,786		627,786
5128 諸謝金	527,200		527,200
5129 会場費	93,464		93,464
5133 雑費	323,292		323,292
管理費			
5142 給与手当	216,285		216,285
5144 福利厚生費	3,900		3,900
5147 通信運搬費	5,655		5,655
5150 消耗品費	10,477		10,477
5152 印刷製本費	54,530		54,530
5154 光熱水費	2,200		2,200
5155 委託料	476,905		476,905
5156 賃借料	69,749		69,749
5157 会議費	47,625		47,625
5162 雑費			
経常費用計	6,498,155		6,498,155
評価損益等調整前当期経常増減額	953,060		953,060
当期経常増減額	953,060		953,060
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	953,060		953,060
一般正味財産期首残高	338,172		338,172
一般正味財産期末残高	1,291,232		1,291,232
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
4331 受取寄付金			
一般正味財産への振替額			
6311 一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	271,646,850		271,646,850
指定正味財産期末残高	271,646,850		271,646,850
Ⅲ 正味財産期末残高	272,938,082		272,938,082

財 産 目 録

平成24年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金			1,332,026
	普通預金	北陸労働金庫福井支店		1,332,026
流動資産合計				1,332,026
(固定資産)	定期預金	北陸労働金庫福井支店		41,646,850
基本財産	出資金	北陸労働金庫		130,000,000
	有価証券	第284回利付国債		100,000,000
特定資産				
その他固定資産				
固定資産合計				271,646,850
資産合計				272,978,876
(流動負債)	未払金			
	預り金			40,794
流動負債合計				40,794
(固定負債)				
固定負債合計				
負債合計				40,794
正味財産				272,938,082

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債権・・・取得原価によっています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込み処理によっています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	41,646,850	0	0	41,646,850
出資金	130,000,000	0	0	130,000,000
有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
合 計	271,646,850	0	0	271,646,850

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
定期預金	41,646,850	(41,646,850)	(0)	(0)
出資金	130,000,000	(130,000,000)	(0)	(0)
有価証券	100,000,000	(100,000,000)	(0)	(0)
合 計	271,646,850	(271,646,850)	(0)	(0)

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

〇〇〇に対する保証債務は、×××円である。

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
有価証券：利付国庫債券(10年) 第284回	100,000,000	106,540,000	6,540,000
合 計	100,000,000	106,540,000	6,540,000